



10月号
2022

北九州市学童保育連絡協議会 事務局 だより

保護者会長交流会

「保護者会活動の多様な在り方」

報告者 清水順子さん 一枝学童保護者
6月26日（日）ウエル戸畑 参加：11学童44名

一枝学童の保護者清水さんより「保護者会ってそもそも必要？」「学童の保護者会の在り方は多様でいい」「一枝学童の（Withコロナでも）あって良かった活動」など、パワーポイントで行事等の写真を交えて報告していただきました。その後、保護者、運営委員、支援員それぞれ5～6名のグループに分かれて交流しました。

【グループ討議での感想】

- *他の学童の方々とお互いの様子が知れてよかった。保護者が出るイベントが多いのはたいへんだが、子どもが喜ぶ顔が見れるのは嬉しいので頑張りたいと思う。
- *コロナで中止していた活動を、どう再開するか難しく感じるのは、他のクラブも同様だったので、今後再開していく中で、「うまくいったよ!」という事例も共有できる機会があったらいいなと思いました。

今年度も保護者会長交流会を開催する予定です。
こんな交流会がしたいなどご意見がありましたら事務局までお寄せください！

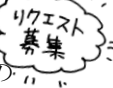
保護者学習会

立花高等学校 齋藤真人校長先生 講演会
「いいんだよ」は まほうのコトバ
7月26日（土）オンライン開催
参加：10学童69名

保護者学習会を定期総会時、午前中に行っていましたが、コロナ禍、昨年より保護者の学習会をオンラインで行ない、参加者も増えました。
1月にも予定していますので、多数のご参加をお待ちしています。聞いてみたいお話、講師の先生のご希望等ありましたら、事務局まで、ご連絡ください。

【感想文より】

- *「よかよか」は、なかなか言えない言葉です。今日の先生のお話をきいて、考え方と視点を変えることで、子どもたちの可能性を伸ばしたり、引き出せたりするのだろーと思いました。
齋藤先生に生徒たちが本音を話しているからこそ、色々なエピソードがあるのだろーと思います。
心優しい生徒たちの実話には涙なしには聞けませんでした。本音が話せる環境の大切さもあり、そのような関係性を築けるようにしたいと思います。
- *元気と迷惑は貸し借りができる。100回の「がんばれ」よりも一回の「よく頑張っているね。」心打たれました。日々の生活の中で、誉め言葉、「出来ているね」といえるように、心がけていきたいと思いました。



夏の映画会「ぞう列車がやってきた」 9クラブ664人の子どもたちが鑑賞しました

夏の映画会は人権と平和をテーマに「九州共同映画会社」の方にお願ひして、開催しています。
今年で28年目になりました。

- *わたしは、せんそうがいやだとおもいました。ひとやどうぶつがしんでしまうからです。そして、いきのこったどうぶつ、ひと、すごいとおもいました。しんでしまったどうぶつがかわいそうとおもいました。（1年生）
- *ゾウ達は、せんそうで2体なくなったけど、マカニーとエルドが生きのこったが、すごいと思いました。さぶちゃんとぼっぼちゃんがせわをして、しいくいんさんたちのきょうりよくで、2体のぞうがいきのこったんだなと思いました。ほかに、いとうずの森にも、こんなことがあったのが、よくわかりました。（4年）
- *わたしは「ぞう列車がやってきた」をみて戦争でたくさんの動物がなくなって、その中で生き残った象をいじめめる人たちもいてとてもかなしい気持ちになりました。象を見るため、たくさんの子どもたちが列車にのって見に来て、最後に2人がさいかいして、とても感動しました。
6年間でいろんな映画を見たけど、1番感動した映画でした。たくさんの平和についての映画などを観れて、たくさんのことを知れてよかったです。（6年）



こ れ か ら の 活 動

- *第57回全国学童保育研究集会
2022年10月29日（土）、10月30日（日）
オンライン開催
記念講演
「紛争地、被災地に生きる子どもたち
～取材から見えてきたこと～」
安田菜津紀（フォトジャーナリスト）
25分科会にわかれて交流し学びます。

- *第41回学童保育クラブまつり
今年も昨年同様、対面外で学童保育クラブまつりを行います。どんな交流が出来るか、担当クラブの保護者、支援員さんと準備しています。

北九州市学童保育連絡協議会

〒805-0067 北九州市八幡東区祇園2丁目4-22

TEL 093-662-6000 FAX 093-662-6006

E-mail gakahoren6000@axel.ocn.ne.jp